



































チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・社是、経営理念、当期経営方針を明文化し、週初めの全体朝礼で社長が唱えて、意識の高揚に取り組んでいる。 ・経営方針は前期および後期ごとに展開し、計画的に実行している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・環境経営方針の中で、環境関連法令・規則・協定およびお客様の要求事項の遵守を明示し、全従業員に周知を行っている。 ・環境経営方針は、会社のホームページで公表している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引価格設定においては、品質、仕様、数量等を十分に確認した上で、社内の承認を得ている。 ・購入材料価格や購入部品価格が変動した際には、発注者と合意の上で見積金額を決定している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・エコアクション21に全社体制で取り組み、事業活動が社会および環境に及ぼす影響を把握して、改善活動を促進している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・事業活動に有用な技術および営業上の秘密情報の侵害排除について、全従業員に周知を行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護法ガイドラインに基づき、個人情報の適正な取り扱いを確保し、厳重に管理している。 ・個人情報の漏洩防止については、合同会議および全体朝礼において、周知を行っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的な訪問面談によってお客様の意思を把握し、適切にコミュニケーションを取っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・事業パートナーと生産技術開発協同組合を結成し、パートナー間で新しい仕事の取り組みや相互支援を行い、また年度行事には省エネ、整理整頓、ビジネスマナー、ハラスメント等々の勉強会を開催している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】事業継続計画(BCP)のたたき台作成済、令和8年3月までに完成させる。 ・熊本地震の経験を踏まえ、年に1回の避難訓練を実施している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の育成を目的に全ての部署を異動し、仕事の体験実習を行っている。 ・経営実績報告会や安全衛生会議等の会議へ、積極的に参加させている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・管理職向けにパワハラ防止教育を実施し、また全従業員には定期的にハラスメント防止セミナーを受講してもらい、受講後は確認テストを行い、差別の禁止を徹底させている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生管理組織(社長、管理職、一般職委員)による安全衛生会議を毎月開催し、リスク改善による快適職場づくりに取り組んでいる。 ・安全衛生活動計画による、法令点検等々の実施を確認している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに基づき、正社員および嘱託社員(雇用延長)に差別がないように、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・年間休日日数を2021年度から12日間増やしている。 ・残業申請制度、残業時間管理、水曜日ノー残業により、過度な長時間労働の防止に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・技能検定資格の取得、各種の技能講習および特別教育の受講の機会を提供し、技能検定資格者へは資格手当を支給している。 ・資格取得費用の援助を実施している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・健康診断結果での再検査は、受診を優先させている。 ・休日出勤を行った際には、振替休日を取得してもらい、健康の維持を図っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・定年後、継続雇用希望者へは、健康と安全に配慮し、十分に活躍できる取り組みを行っている。 ・女性社員の雇用、活躍を推進している。 ・2025年9月に外国人技術者の採用することを決定している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・顧客との納期調整や開発装置の仕様等の確認は、ウェブ会議を利用している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・生成AIを活用し、業務の効率化を図っている。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・令和4年度にプライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。(2024年12月更新済) ・産業廃棄物処理法に基づく、廃棄物分別処理を実施している。 ・有害化学物質は取扱マニュアル(保管・使用方法、緊急時の対処法、廃棄方法)に基づき、適切な管理と処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エコアクション21に取り組み、電力使用量およびガソリン消費量等の実績を月毎に管理し、グラフ化した報告書を作成し全従業員が把握できるようにしている。 ・LED照明への切替え、ハイブリッド車の導入により、電力およびガソリンの使用量削減に取り組んでいる。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エコアクション21に取り組み、二酸化炭素の排出量の実績を月毎に管理し、報告書にて全従業員が把握できるようにしている。 ・各部署毎に年間目標を設定し、部品加工および装置組立不良削減等々に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業内から河川等への廃油の流出を防ぐため、流出事故対応の訓練を定期的に実施している。 ・事業および従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・ダンボールは、回収業者へ無償で引き取ってもらっている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・手洗い場の蛇口は、水量調整をして節水に取り組んでいる。 ・事業所内での社有車の洗車は、禁止している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・トイレットペーパーは、リサイクル材料(古紙パルプ配合率100%)を使用したものを購入し、使用している。ゴミ袋は環境に配慮した素材(バイオマス素材10%)を使用したものを購入し、使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・照明機器をすべてLED化している。 ・空調機とコンプレッサーは、省エネ効率の高い機種を選定し、導入している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社アラオ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・顧客に納品する製品は社内検査において、品質保証と安全性を確保している。 ・製品の取扱説明書を作成する際には、安全を十分に配慮している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・車椅子の利用者や歩行が不自由な人が通り易いように、従業員および業者専用の出入口にはスロープを設け、更には、室内の通路や廊下などの床の高低差は、皆無にしている。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・少子高齢社会における労働力不足の解決のため、ものの生産を自動化を実現するための装置を製作している。 ・機械装置を開発するエンジニア養成のための実習機を製作している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・定期的に工業団地内の道路および歩道の美化作業を、社長以下全従業員が積極的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・「地震発生時避難訓練マニュアル」を作成し、社長以下全従業員が積極的に参加する訓練を、年に1回実施している。 ・地震発生時の危険個所のチェックリストを作成し、都度チェックできるように取り組んでいる。(震度5以上)				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップでは毎年、県内工業系学校の生徒を積極的に受け入れている。(受入実績(2022～2024年度):熊本県立技術短期大学、熊本工業専門学校、熊本工業高校、八代工業高校、御船高校)				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	職業講話(出前授業)や、インターンシップ、就職説明会への積極的な参加など、地元の若者への認知拡大に取り組んでいる。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3